

こころ豊かな暮らしづくり・まちづくり

広報おおき

No.541
2026
令和8年

4月号



ちがいはちから、つながりは未来 2～7ページ

将来世代に責任を持つ町政へ～令和8年度施政方針～ 8～11ページ

写真：筑後特別支援学校の子どもたちが作った皿とバターナイフ（2～7ページに関連記事）

ちがいはちから、つながりは未来

～4月2日は世界自閉症啓発デー～

☎福祉課 ☎0944-32-1060

自閉症を持つ私から見た日常

大阪青凌中学校 3年 藤田 壮真 ふじた そうま

私は重度自閉症である。いつも叫び出したい衝動を感じている。でも叫ばない。叫んではいけないと学んだからだ。この作文で私から見える世界を、みんなに共有したい。

小学校は支援級に在籍していたが、現在は中高一貫で少人数制の私立中学に通っている。4歳の時に注意欠陥多動優勢の自閉症スペクトラムと診断を受けた。小学6年生の時に身長が止まり、成長ホルモンを毎日注射している。身長は140センチで、15歳男子平均より20センチ以上低い。

家族とファミリーレストランに行くと、店員が「子供椅子はいりますか」と笑顔で聞く。耐える私に、今度はキスマメニューを差し出して来る。見た目で判断しないでください。そう伝えたいけれど、見た目で子供なのだから、店員を責められない。やいどの無い怒りを抱えて私は黙る。

私は授業中によそ見をします。宿題のお知らせを聞き逃

し、やつこない。不真面目で意欲を持っていないと評価される。悲しい出来事で、何度も泣いた。

真面目に授業を受ける気持ちで座っているが、教室はその気持ちを阻む様々な情報であふれている。クラスメイトの動きやきぬ擦れの音がとても不快な音でチャリチャリと聞こえる。ノートの上を動くシャープペンシルの音は不協和音で合奏している。エアコンの音が「おおおと鳴り、隣の教室からも似た物音が聞こえてくる。等々きりが無い。

私はいつも叫び出してしまいうで、疲れ果てている。先生の声は、200メートル先の、遠くのトンネルの向こうから聞こえる感じで、なかなか拾えない。

自閉症なのによく喋ることが出来るね、と言われる事がある。私は人と関わるのが好きであるし、お喋りも好きです。だがコミュニケーションがしっかりとれているわけではないようだ。私を母はたまにラジオと呼ぶ。一方的に喋って満足してしまっただ。

人の気持ちを読み取るアンテナが通常なら5本立っているならば、私は1本しか立っていないからだ。私は自分の気持ちも分からない。心を自分に感じない。だけど、相手を泣かせた時は、私の目から涙が出てくる。悲しい気持ちだと教わるけれど、なかなかつかむことが出来ないでいる。

自閉症の子供が産まれて、悲しむ家族もいるだろう。でも私達は学ばず、成長する。人の気持ちが変わりにくいけれど、人が嫌いではない。小学校では床で寝転んでいたが、今は椅子に座り、必死に勉強している。

私達にはみんなと同じだけの未来があり、期待を持っている。私が間違った時は、あきらめないで教えて欲しい。私もこの困難な世界に向き合い、痛みを知っているぶんだけ、弱さを持っているぶんだけ、他の誰かに優しくなれる大人になりたいと考えている。

「自閉症のある人」はどんな人？

周りの人に興味を持たず、自分の殻に閉じこもっている人でしょうか？

映画やドラマで描かれるような、対人関係は苦手だが、ある特定の秀でた才能を持つ人でしょうか？

それとも、藤田さんのように、自分の困りごとと向き合いながら学び、生活している人でしょうか？

そもそも、自閉症(自閉スペクトラム症)とは、自閉症をはじめとする発達障害とは、なんなのでしょう？

今号では、発達障害のことを、さまざまな人々の言葉を通して考えます。



第73回全国・小中学生作文コンクール
ル文部科学大臣賞
受賞作品(要約文)



作品出典 QR

そもそも発達障害って？

児童相談所での勤務経験があり、社会福祉士の資格を持つ、大木町社会福祉協議会事務局長の田中大輔さんにお話を伺いました。



—発達障害はどのような障がいでしょうか？

田中さん 発達障害とは、先天的な脳の働きの違いによるもので、親の育て方や家庭環境、本人の努力不足が原因ではありません。よく知られる知的障害は、全体的な苦手さや発達の違いがより目立ちます。一方、発達障害では得意・不得意の差が大きいといったアンバランスやコミュニケーションの苦手さなどが見られます。

注意欠陥多動性障害 (ADHD)

- 不注意、多動性、衝動性がある
- 勉強や仕事などに注意が続かない。集中できない。
- 持ち物の整理ができない。忘れ物が多い。
- 突然、思いついた行動をとる。

学習障害 (LD)

- 読み書きや計算が苦手
- 漢字が覚えられない。
- 数量をつまかく扱えない。

自閉スペクトラム症 (ASD)

- こだわりが強い
- 臨機応変な対人関係が苦手
- 突然の予定変更が苦手。
- 光や音などの感じ方に特異性がある。

○は主な特性

特性はグラデーションのようなもので境界線が曖昧なため、人によって特性の強弱に差があり、複数の特性を併せ持つ場合もあります。

—発達障害は治りますか？

田中さん 病気とは異なるため、治癒するという意味で「治る」ということはありません。ですが、適切なサポートや環境調整を行うことで、問題や困り感を低減させ、能力を伸ばすことはできます。

本人が学校や社会に出た時に困らないよう、「うまくやる工夫やスキル」を身につけることが重要です。

—発達障害のある人にはどのような支援が有効ですか？

田中さん 話が少し逸れますが、児童相談所に勤務していた頃は、よく児童養護施設に行っていました。施設ごとにかかりがあり、子どもたちが良くない行動を取った時に、ある施設では「指導します」、また

ある施設では「工夫します」と言われました。後者の施設の方が子どもたちの笑顔が多く、落ち着いてのびのび過ごしている印象でした。

同じ行動でも周りがどう捉え、どう関わるかによって、その人の成長や自己肯定感に大きく影響を与えるのだと感じました。

例えば何かを依頼する時にも、「指示を1個ずつ出す」「手順や見本を見せる」「具体的に褒める」など、周りが少し配慮するだけで、できることは増えます。

そうやって成功体験を重ね、自信をもって物事に取り組めるようにする(＝自己肯定感を高める)ことが、支援の基本になります。

こういった配慮は障がいの有無に関わらず、実は誰にとってもありがたいことです。人への接し方や教え方など、みんなが「相手を思い、少し丁寧に」を意識して取り組むだけで、発達障害のある人にも、そうでない人にとっても生きやすい世の中になっていくのではないのでしょうか。

周りがどう捉えて、どう関わるか

保護者のホンネ



発達障害のあるお子さんがいる3人のお母さんにお話を伺いました。

知識が無かったから本を買って学んだ

—お子さんの発達障害に気づいたきっかけを教えてください。

岡崎さん 発達障害のある子は、3人兄弟の末っ子さんなんですけど、上の子たちとなんか違うなあって。

1歳になるくらいまで、本当に手がかからなかつたんです。おもちゃを持たせてたら、1人でずーっと見て手遊びしてました。1歳3か月で歩き始めるから、とにかく多動がひどかつたんです。床に転んで遊んでるなあと思ったり、いきなりパツ



と立ち上がつていなくなる。そして堀のところに行つて石を投げてる。石を投げるのが好きなんです。だからポソって行く。なんか違うなあと思ひながら、2歳8か月で保育園に行き始めました。

その時も発語はほとんどなく、偏食がすごかつたんです。ちよつと親戚がその保育園に勤めていて、「怒らんで聞いて。こつこつ相談があるけん、ちよつと行つてみらん？」と紹介されたのが発達相談だったんです。

そして3歳の時に自閉症と診断を受けました。診断を受けたときは、主人と話しながら、ホツとしたのか、これからどうしたらいいのかという不安からか、涙が出たのを覚えていま

石川さん 今8歳の子が初めての子で、1歳半健診の時に、

通常のお子さんだったら、言葉が出てくるらしいんですが、うちの子は全然出てなくて。そこで最初指摘されて。そして3歳の時に専門医に診てもらつたら、これは自閉症ですね。知的障害を伴う自閉症ですつて即答されて、えーつてなりました。

下の子は上の子と比較すると割と言葉が出ていて、疑いもしなかつたんです。ところが、3歳になる前の健診で、この子もちよつと特性があるよつて、またえーつてなりました。ただ、この子たちの子育てには、正攻法は通用しないんだつていうのが分かつたのはよかつたです。

荒巻さん やつぱり言葉ですね。全然喋れなかつたんです。なんかすごく違和感はあるつて。

周りは結構喋つたりしてましたので、すごいなと思つていました。健診の時に、病院で診てもらつた方がいいかもと言われて、その時はすごく曖昧なことしか答えてもらえなくて。

ただ、ちよつと何か引つかかるから、知り合いを通じて4歳

の時に受診をしました。そして、もう行つてすぐその場で自閉症です、と。

とにかく知識がなかつたので、本を買つて自閉症や発達障害のことを学びました。

誰だつて初めては不安

—お子さんとの関わりで工夫されたことはありますか？

岡崎さん 見通しが分かれば大体大丈夫なので、まず時計の見方を教えました。長い針がここに来て、何時になつたら家を出るよとか言つたら、本人はその時間になつたらもう待つてるんですよ。学校でも何時から何時までは何の時間とか、先生が工夫してありました。

帰りの会とかが遅くなつたりすると、思ったことがすぐ口から出てしまうので、「先生、話が長いわ。」とか言つてしまつてはいました。

おかざきひでこ
岡崎秀子さん

発達障害のある22歳のお子さんがある。知的障がい者相談員。

あらかまきあきこ
荒巻明子さん

発達障害のある22歳のお子さんがある。みずの会会長。

いしかわちえ
石川千恵さん

発達障害のある8歳と5歳のお子さんがある。まっちライター。

▼分かりやすく色分けして書かれたカレンダー。
 (株)おもめどうのものを愛用



みんなに「できるよ!」って伝えたい

荒巻さん 小学校に上がるときに、子どもとの接し方や苦手なことなどを細かくまとめたサポートブックを作って学校に渡しました。

子どもと一番関わっている自分、その子どもの特性について一番分かるじゃないですか。分かってもわからないと、この子ども困るし、周りの子どもたちも間違えた理解になるかなと思って。

石川さん 私はカレンダーですね。目で見て分かりやすく、見通しが立てやすいように、子どもたちに合わせて作っています。小さい時って、やっぱりその先に何かあるかわからないから不安で、大人だつて初めて行くところとかは不安ですよ。

地域のあつたかさへ
 づいた

—お子さんのことを相談できる人はいましたか?

岡崎さん 私は家族とみずしの会ですね。病院でみずしの会のチラシを見て気になっていたら、知り合いが入ってて、それでつながりました。会では、いろんな方の話を聞いて、荒巻さんとは自分も子どもも同じ年で、自分だけじゃないんだ、一緒に一緒に共感できて。悩みも受け入れてくれました。

家族はもうみんな、私たちが夫婦だけじゃなく、おじいちゃん

んもおばあちゃんも兄弟も親戚も、みんな障がいを受け入れてくれて。相談にも一緒に行ってくれて。本当に助かりました。

石川さん 私も一緒に住んでいる家族や実家の母とも相談できていますし、子どもたちが通っている支援施設や、社協にも制度的なこととか色々と相談に乗ってもらっています。

—周りからの支援や声かけで嬉しかったことはありますか?
荒巻さん もう、本当にいっぱいあります。地域の人が、子どものことを気がかけてくれて、見守ってくれて、声をかけてくれるんです。私たちが知らない人たちからも直接声をかけてもらえて、びっくりして。それが何より嬉しくて。特別なことをしてもらいたくないっていつんじやなくて、普通に接してもらおう。挨拶してもらおう、本当に困ったときに、ちょっと手助けしてもらったり、声かけてもらったり。でもそれって本当は、障がいのあるなし関係なく、誰に対しても同じことですよ。



係なく、誰に対しても同じことですよ。

岡崎さん 私もです。地域の方々が、「最近見かけんけど、どこ行きよ」とか「二人で歩いてあつたよ」とか。声をかけてくれるんですよ。障がいのある子どもがいてくれたから、地域の方々のありがたさ、あつたかさへ気づけました。

—最後に、発達障害のあるお子さんや保護者の方へメッセージをお願いします。

石川さん どんな障がい、特性のある子でも、やりやすい方法や、得意なことがあります。その子にあつたやり方を見つけていけるといいかなと思います。

荒巻さん うちの子どもは今めっちゃ行動的なんです。自転車に乗って一人で荒尾や佐賀にも行ったりしています。好きなことは本当にできる。何でも経験させてきたのがよかったのかなと思っています。だからみんなに「できるよ!」って伝えたい。障がいあるなし関係なく、「できない」が前提じゃないよ。「できるよ!」って。

岡崎さん 私は「一人じゃないよ」って。何でも抱え込まないで。手助けじゃないけど、話を聞いてくれるだけでも、助かるの。共感してもらわなくてもいい。一人で抱え込まないで。相談できる場所は色々あるから。

私も知的障がい者の相談員をしていますし、役場でも社協でも話を聞いてくれる人、場所はあるからって伝えたいです。

1人で悩んでいませんか? 話したら気持ち良くなるかもしれません。あなたは1人じゃない。

◎みずしの会(荒巻)

☎090-0876-033863

「こんなこと」でも 相談してほしい

最後に、発達障害のある子どもたちや保護者と日ごろから関わる、大溝保育園と大木町こども家庭センターの皆さんにお話を伺いました。

気持ちと言葉を大切に

—支援者として、大切にしていることを教えてください。



新島 吉村 原田 石橋 堤

吉村 相手の気持ちを大事にする。これが一番です。診断されたから、じゃあ次はこう、次はこうっていうことは簡単な

んだけど、そこではない部分、本人の困り感をやっぱり重点にしたいなと思っています。

そしてタイミング。就学するタイミングだったり、保護者の受け止めができてきたタイミングであったり、気持ちとタイミングを大切に、「コミュニケーションを取っています。

新島 診断名は、同じような特徴のある人たちを表現しよう

ことで、便宜的につけられています。

実はそこには、さほどこだわる必要はなくて、その人がどんな特性を持っているのか、どんな困りごとがあるのかが大切。専門職だからこそ、不要なラベリングにつながるよう、言葉を大切にしています。

その子の「今から」のために

—専門職の皆さんが心がけていることはありますか？

石橋 以前ある社会福祉士に「この人の一生を考えた時に、今あなたがせないかんことはほんの一握り。一生をかけてこの子が幸せに生きるにはどうしたらいいかという風に視点を変えましょうか」と言われたことがあります。

その子の「今」だけでなく「今から」のために、分野の違う多職種が話し合っチームで総合的に考えることで、その子に合った支援をしています。

原田 私たちが支援できる期間には限りがある、次の小学校や中学校、高校、社会人と自立に向けての支援をつないでいく役割も持っています。

支援をつなげるためには、まず支援者が嫌な人たちではないと子どもたちに信用してもらうこと。この信用があつてこそ、次のステージで違う人が支援できるし、そこでうまくいかなかったも、次にまたつなげる。そうやって支援のバトンをつないでいます。

困った子は困っている子
—最後に、町民の皆さんへメッセージをお願いします。

石橋 私は保健師として、健診の場などで、「困りごとがあったら教えてね」「教えてくれてありがとう」という気持ちを忘れないようにしたいと思っています。

こんな些細なことで相談してもいいのかな…と思うかもしれませんが、

ないけど、「こんなこと」でいいから相談してください。

原田 子どもの行動一つとっても、「困った子」じゃなくて「困っている子」のSOSのサインとみんなが捉えて、その子の困りごとに温かな手を差し伸べられるようになればと思います。

堤 今、大溝保育園を子育て世代により身近な相談先となる「地域子育て相談機関」にする準備を進めています。

家庭センターでも保育園でもどこでも、一人で悩まずに相談してください。

支援のバトンをつないでいく

☎ 0944-32-1022
問 こども家庭センター



そだちの相談HP



Books

図書・情報センターには発達障害をテーマにした本がたくさんあります。4月2日は世界自閉症啓発デー、また4月2日から8日は発達障害啓発週間です。この機会に本を通して理解を深めてみませんか？お互いを知るきっかけになるかもしれません。



【司書おすすめ①】

『発達障害の人が見ている世界』

精神科医 岩瀬利郎／著
出版社：アスコム

空気を読めない、会話が成立しない、片付けられないといった発達障害の人の考え方や行動の理由を具体的に解説。あいまいな表現を使わない、視覚に訴えるなど対応策も紹介します。コミュニケーションにおけるさまざまな困りごとの解決の糸口になるかもしれません。

*ADHD、ASD特性チェックつき



【司書おすすめ②】

『ちがうものをみている 特別支援学級のこどもたち』

のえみ／作
出版社：石風社

この子どもたちを知れば、世界はもっとゆたかになれる。ちがうものが見えるって、すごい！

特別支援教育に携わってきた著者が、子どもたちの生き生きとした日常を、それぞれの子どもの目線で描く。短いエピソードを漫画で紹介しています。読みやすく、見え方や感じ方のちがいに気づかせてくれる一冊です。



【司書おすすめ③】

『テミスの不確かな法廷』

なおしましろう 直島翔／著
出版社：KADOKAWA

裁判官・安堂清春は、幼い頃発達障害と診断され、自身の特性と向き合ってきた。さまざまな事件と人との出会いを通じ、安堂は裁判官として、ひとりの人間として成長していく。物語を通して一人ひとりの考え方のちがいに気づかせてくれる本です。

つながりなおす

個性や特性は、時に「生きづらさ」として現れるかもしれませんが。しかし、それは決して欠点ではなく、その人にとって新しい世界の見方であり、新しい価値を生み出す源泉でもあります。できないことを数えるのではなく、その個性をどう生かしていくのか。

特別な知識がなくても、できることはあります。まずは知ること。そして、目の前の人を「ひとりの人間」として尊重し、つながりなおすこと。一人ひとりの小さなSOSを拾い上げ、支援のバトンを次へとつないでいく。

その積み重ねが、この町を、誰もが自分らしく生きられる場所に変えてくれるはず。

ちがいはちから、
つながりは未来

この言葉を合言葉に、誰もが笑い合える明日を、ここ大木町から一緒に作っていきませんか？

将来世代に責任を持つ町政へ — 令和8年度施政方針 —

変化する私たちの日常

令和8年度が始まりました。世界では武力衝突や緊張関係が続いています。国際情勢の変化は、遠い出来事のようにありながら、地域の生活や経済にも確実に波及しており、物価の上昇やエネルギー価格の高騰など、社会情勢の不安定さが私たちの暮らしにも影響を及ぼしています。

こうした時代だからこそ、本町は改めて、人権が尊重され、命と尊厳が守られる社会の実現を町政の原点に据え、誰もが安心して暮らし続けることができる地域を守らなければなりません。そこそが自治体の最も基本的な使命であると考えています。

人口減少に向き合う

また、日本社会は人口減少と少子高齢化が進行する大きな転換期にあります。地域社会を取り巻く環境はこれまで以上に厳しさを増しており、自治体の役割や行政運営の在り方も大きく問い直される時代に入っています。

す。人口構造の変化は、地域コミュニティの姿や生活のあり方にも影響を及ぼし、地域社会を支える仕組みそのものが変わりつつあります。

大木町がこれまで大切にしてきた環境のまちづくりと地域の支え合いの精神を基盤に、地域のつながりを守りながら、持続可能な地域社会の実現に向けて歩みを進めていくことが重要です。

施設管理と人材確保

人口減少と少子高齢化の進行は、公共施設や社会インフラの老朽化という構造的な課題を一層顕在化させています。税収の大幅な伸びが期待しにくい中で、維持管理費は年々増加し、高度成長期に整備された施設や設備は更新時期を迎えています。今後は、これまでと同じ規模や仕組みを前提とした行政運営では立ち行かない局面にきています。

さらに、行政を支える人材の確保も容易ではなく、限られた体制の中で多様化・高度化する行政課題に対

応していかなければなりません。行政の役割や仕事の進め方そのものを見直しながら、地域社会全体で課題を乗り越えていく視点が求められています。

将来を見据えて

人口減少を止めることは容易ではありません。しかし、その影響を和らげながら、持続可能な規模でまちを維持していくことは可能です。そのためには、行政が担う役割や手法を見直し、限られた資源の中でも機能し続ける地域の姿を見据えた町政運営へと転換することが不可欠です。

従来の拡大型の発想から脱却し、優先順位を明確にしながら、職員一人ひとりの力を最大限に発揮できる行政経営を徹底し、将来世代に責任を持つ町政を進めてまいります。

令和8年度一般会計当初予算は85億8800万円、前年度比2.5%の減となりました。規模の拡大を目指したものではありません。給付競争や一時的な施策に流されることなく、何を守り、何を直し、何を次世代へ引き継ぐのかという視点に立ち、持続可能性を最優先に編成しました。単年度の収支だけでなく、中長期的な財政見通しを踏まえ、将来世代に過度な負担を残さない運営を行います。

また、近年は物価上昇や資材価格の高騰により、公共事業や施設維持に要する経費も増加傾向にあります。

さらに、社会保障関係経費や公共施設の更新費用など、今後継続的に対応が求められる支出は少なくありません。

このような状況の中で、限られた財源を有効に活用するためには、これまで以上に事業の必要性や効果を丁寧に見極めることが重要となります。

住民生活を支える基本的な行政サービスを確実に維持しながら、将来を見据えた投資と財政の健全性の両立を図り、持続可能な町政運営を進めてまいります。

5つの戦略で進める町政運営

① 健康で安心して暮らせるまちへ

自治体の役割は、「今日と同じように明日も暮らし続けられる安心」を保障することです。

そのためには、健康寿命の延伸が重要です。運動・測定・指導を組み合わせた健康増進施策を強化し、平均寿命と健康寿命の差を縮めていきます。

また、「こどもまん中社会」の実現に向け、地域の中で子どもを育てる環境を整えます。子どもは将来の担い手であると同時に、今を生きる主権者です。地域全体で支える仕組みづくりを進めます。



② 環境循環のまちの深化

今まで積み重ねてきた資源循環型の取り組みを発信し、農産物の付加価値向上につなげていきます。バイオマスセンターの安定稼働や液肥散布車の導入など、循環型社会の基盤を強化します。価格競争に巻き込まれるのではなく、「環境循環のものがたり」を町のブランドへと高めていきます。



③ 持続可能な行政経営

社会インフラの更新、水資源の確保、ごみ処理施設の持続性など、中長期課題に正面から向き合います。人口減少社会においては、すべてを維持することは困難です。事業の選択と集中を徹底し、将来世代に過度な負担を残さない判断を行います。



④ 職員の政策能力向上

行政は制度を運営するだけでなく、地域課題に向き合い、提案できる力が求められています。

限られた人材で成果を出すため、実践的な研修を充実させ、課題解決型の組織へと進化させます。



⑤ DXの推進

「デジタルで快適、便利で幸せな町へ」を掲げ、住民サービスの向上と業務改革を進めます。

生成AIの活用や電子契約導入などを進めつつ、高齢者やデジタルに不慣れな人を取り残さない姿勢を貫きます。



アクアスのこれから

大木町健康福祉センターは、町民の健康づくりと福祉の向上を目的として整備された施設であり、健康福祉棟と多世代交流棟「アクアス」によって構成されています。

特にアクアスは、温泉機能を中心とした多世代交流の場として、これまで長年にわたり町民の皆さまをはじめ多くの利用者に親しまれてきました。

施設の老朽化と課題

施設の開設から年月が経過する中で建物や設備の老朽化が進み、将来にわたり安全かつ安定的に運営していくために、改めて耐用年数を見据えた改修のあり方や維持管理費用を検討する必要があります。

過去の長寿命化調査では、現在の施設を継続して利用する場合、将来的な改修や設備更新などに約18億円の費用が必要になると試算も示されており、本町の財政規模を踏まえると決して小さな負担ではありません。

町としては、長年親しまれてきた施設に対して町民の皆さまが様々な思いを持っておられることを重く受け止めています。また、アクアスの温泉は地域資源として価値があるとの意見

も多く、本町にとって大切な資源の一つであると認識しています。そのため、アクアスの廃止ありきで検討を進めているものではありません。

健康増進拠点としての再構築

令和5年度には「健康福祉センターの在り方に関する検討委員会」を設置し、健康福祉センター全体を将来にわたって町民の健康増進を支える拠点としてどのように活用していくべきか検討を進めてきました。

その中で示された方向性が、健康福祉センターを「全世代型健康増進拠点」として再構築していくという考え方です。

運動、測定、指導、交流といった機能を組み合わせ、町民一人ひとりの健康づくりにつなげ、健康寿命の延伸や介護予防を進めていくことを目指しています。温泉も、運動や健康指導などと組み合わせながら、健康づくりを支える資源として活用していく考えです。

現在進めている調査

現在、施設の劣化状況や必要となる費用など、再調査を進めています。今回の調査では、これまで調査対象

となっていなかった項目も含め、施設の状態を幅広く確認しています。

この調査結果を踏まえ、現行施設を継続した場合を含めた二つの基本設計案の検討を進め、健康福祉センターの機能のあり方や施設整備の方向性などを整理し、総合的に比較検討できる資料をまとめていく予定です。

今後の整理と判断

これらの資料は秋口を用途に整理される見込みであり、町では、町民の健康増進への効果、安全性や維持管理の実現可能性、将来の財政負担、利用状況、温泉資源としての価値などを総合的に評価し、今後の方向性を判断してまいります。

アクアスをめぐる検討は、単に一つの施設の存続の是非を問うものではなく、限られた資源の中で町民の皆さんの健康と暮らしを将来にわたってどのように支えていくのかという、本町の将来に関わる重要な課題です。

町としては、住民説明会と対話を重ねながら議会とも十分に議論し、将来世代に過度な負担を残さない持続可能な判断を整理してまいります。



二元代表制の原理と責任

地方自治は二元代表制です。町民の直接選挙によって選ばれた町長が提案し、執行の責任を負います。

同じく町民から選ばれた議員が審議し、議決し、監視する責任を負い

ます。どちらが上でも下でもなく、それぞれが町民から負託を受けた対等な存在です。

議論の中で、多様なご意見、考え方や異論、時には厳しい指摘があるこ



とは当然であり、それこそが健全な自治の姿です。しかし最終的に議決がなされたならば、それは町としての意思決定です。執行部はその決定を誠実に実行する責任を負い、議会もまたその判断の重みを共有します。

あの時の決断は持続可能だったのか。将来世代に過度な負担を残さなかったのか。その問いは、執行部だけでなく、意思決定に関わる私たち全員に向けられるものです。

この緊張感こそが、町民から負託を受けた者の責任であると考えます。

1期4年の総括として

令和8年度は、私にとって1期4年の任期の最終年度となります。この3年間、人口減少社会を前提とした町政運営への転換を掲げ、持続可能性を軸に取り組んできました。すべてが十分であったとは申しませんが、避けて通ることのできない課題から目を背けることなく、将来世代への責任という視点を大切にしながら町政運営を進めてまいりました。

これまでを振り返りますと、人口減少や少子高齢化の進行、さらには社会経済情勢の変化など、自治体を取り巻く環境は大きく変化してきました。従来の延長線上の行政運営では、地域社会を支え続けることが難しい時代に入っていることを、改めて実感しています。

そのため本町では、人口減少社会を前提とした町政運営への転換を掲げ、限られた財源や人材の中で、何を守り、何を見直すのかという視点を常に持ちながら、持続可能なまちづくりに取り組んできました。

すべての課題を一度に解決することはできませんが、町民の皆さまの暮ら

しを守るために、今取り組むべきことを見極めながら、一つ一つ着実に前へ進めてきた3年間であったと考えています。

この歩みは、行政だけで成し得たものではありません。町民の皆さまをはじめ、地域団体、事業者、関係機関の皆さまのご理解とご協力によって支えられてきたものです。改めて深く感謝を申し上げます。

これからも、地方自治の原点を胸に刻み、町民の皆さまの信頼に応え得る町政運営を続けていく覚悟です。将来世代に責任を持つという価値観を大切にしながら、持続可能な町政運営を着実に進めてまいります。

町民の皆さま、関係団体の皆さまには、地域と行政が支え合い、役割を分かち合う協働の取り組みに、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

もっと知りたい!まちのこと

おおきまち

出前講座

☎企画財政課 ☎0944-32-1036 ㊟0944-32-1054

役場の職員などが町民の皆さんのところに出向いてお話しします。
出前講座を通して、町政への理解や関心を深めてもらい、町民の皆さんとの協働のまちづくりを進めていくことを目的としています。

対象

町内に在住・在勤者で構成される5人以上の団体・グループ（共通の話題や認識を持った個人の集まりも含む）ただし、次のような場合は、講座を開催できません。

- (ア) 政治活動、宗教活動、営利が目的と思われる場合
- (イ) 苦情や陳情、請願を目的とする場合や、それと思われる場合
- (ウ) 参加者を公募して行う場合
- (エ) 出前講座の開催趣旨に反する場合

開催日時

平日 10時から21時までの間
土日 10時から17時までの間
(祝日や年末年始を除く)

開催場所

原則として、申込者で町内の公共施設、校区コミセン、地区公民館など開催場所を準備してください。

費用負担 (講師料など)

講師の派遣料や講師が作成する資料代は無料です。
ただし、会場運営費やその他の雑費は申込者の負担となります。

申込方法

- ① 受講する講座が決まったら、メニュー一覧の担当課に日時、場所、内容などの確認を行います。(業務の都合上、希望日に応じられないことがあります。)
- ② 左記QRコード、または申込書の持参、郵送、FAXで、開催希望日の3週間前までに各担当課へ申し込んでください。

おおきまち
出前講座
申込フォーム



決定方法

申込書を受領後に、日程などを調整し、担当課から決定通知書を送付します。

出前講座の流れ

申込者

- 一覧から希望する講座を選び、申込書を提出
- 会場を準備する
- 講座を受ける



申込書



担当課

- 日程調整を行い、日時を決定
- 決定通知を発行
- 講座で説明する



決定通知



おおきまち 出前講座 メニュー 一覧(令和8年度)

講座番号	タイトル	内容紹介	時間(分)	担当課・電話番号
1	障がい者福祉制度	障がい者への福祉制度をまずは知ることから始めませんか?	30	
2	成年後見制度	認知症や障がいのある人など、判断能力に不安があっても、安心して暮らせるための成年後見制度を説明します。	60	
3	自分らしく生きるための人生会議	《もしバナゲーム》 もし、余命わずかと言われたら、あなたは何を大切にしたいですか?皆さんと一緒にカードを使って「もしも」の話をしましょう。※1か所最大25名まで	60	
4	もしもの時に役立つノート	《エンディングノート》 自分自身に何かあったときに備えて、必要な情報を残すためのノートです。ご自分の「意思」をエンディングノートに書いて、自分らしい終活を考えてみませんか? (人数制限なし)	60	
5	かかりつけ薬剤師を知っていますか	いくつもの病院から出されるお薬は一緒に飲んでもいいの?など、かかりつけ薬剤師を持てば相談できることもあります。かかりつけ薬剤師のことを学びませんか? (平日のみ)	60	
6	知っておきたい「在宅医療」と「介護」の備え	病院の治療だけでなく、自宅や施設で療養しながら生活を支える「在宅医療」。そしてそれを支える「介護」の仕組みをわかりやすく説明します。	60	福祉課 ☎0944-32-1060
7	認知症サポーター養成講座	認知症という症状を知って、声掛けや支援の方法を学びましょう。(平日のみ)	90	
8	認知症～予防と備え～	日常生活で無理なく行える認知症予防をお話します。	60	
9	地域でたのしく通える場所・居場所づくりを行ってみませんか?	(※高齢者対象講座) ふれあいいきいきサロン事業の説明とレクリエーションゲームを行います。いきいきサロンがない地区におすすめです!	60	
10	からだと脳の健康度チェック	(※高齢者対象講座) (火曜～金曜日のみ) 今の身体状況をアンケート記入で確認したり、物忘れチェックをゲーム感覚で行ったりします。(65歳以上が集まる団体、年8か所限定)	100	
11	あなたも「ゲートキーパー」になろう!	悩んでいる人への接し方や話の聴き方のコツを分かりやすく説明します。大切な人や地域を守るために私たちにできることを一緒に考えてみませんか?	60	
12	みんなで楽しく健康運動	誰でも安全にできる軽い運動で楽しく体を動かしていきます。運動スタッフが皆さんのもとにうかがい、運動方法をお伝えします。 ※月曜日、5/7、7/21、9/24、10/13、11/24、1/12、3/23を除く	60	
13	専門職が伝えたい健康のキホン	特定健診・高齢者健診やがん検診受診、その他健康づくりのことをお伝えします。 ①これからの健康づくり(保健師) ②健康的に食事をとろう(管理栄養士) ③意外と大事なお口の健康(歯科衛生士)	60	健康課 ☎0944-32-1280
14	無理なく楽しくアクアスポーツジム体験	健康福祉センターでのトレーニングやストレッチなどを体験できます。健康福祉センターを利用してみたい皆さんにおすすめです。送迎希望は、申し込み時に相談ください。 ※水・木・土曜日のみ(年5団体) ※別途入館料が必要です。	60 (10時～)	
15	自治総合計画と町の財政	自治総合計画と町の財政をお話します。	40	企画財政課 ☎0944-32-1036
16	読み聞かせで広がる本の世界	子育てサークルから老人クラブまで、対象者に合わせた絵本の読み聞かせを行います。※原則、月曜日以外	60	
17	男女共同参画の地域づくり	地域の活動に不可欠な男女共同参画を考えましょう。	60	地域づくり課 ☎0944-32-1047
18	つながる地域の宝～文化財紹介～	神社や伝統行事など地域の文化財を学びませんか? ※原則、月曜日以外	60	
19	相続と遺言と空き家	元気なうちに「相続・遺言・空き家」の事を考えてみませんか?	60	産業振興課 ☎0944-32-1063
20	大木町循環のまちづくり	なぜ分別をするのか?大木町循環のまちづくりの取り組みと、資源ごみの分別のことをお話します。	60	環境課 ☎0944-32-1120
21	災害に対する日頃からの備え	災害時にみんなで支えあう仕組みづくりを一緒に考えませんか?	50	総務課 ☎0944-32-1035

大木町

株式会社クラッソーネ



「空家等対策に関する包括連携協定」を締結

「いつか」ではなく「今」考えたい、わが家のこれから。

2月27日、町は株式会社クラッソーネと連携協定を締結しました。

同社は、解体工事DXのプラットフォーム運営において国内最大級の実績を持ち、全国の180以上の自治体と協力して空き家対策を推進している専門企業です。

空き家は放置が長引くほど、建物の傷みが進行し、修繕や解体のコストも膨らんでしまいます。今回の協定を通して、まだ家がしっかりしているうちに将来の売却や活用、適切な除却が検討できるよう、スマホやパソコンで簡単に使える「安心の窓口」を提供します。

サービスのご紹介

紹介するサービスは全て無料で利用できます。お気軽にご活用ください。

「大木町」版 すまいの終活ナビ

相続した実家や空き家の解体費用や解体後の土地売却査定相場が手軽に確認できます。

親族同士での、話し合いのきっかけにご活用ください。



「大木町」版
すまいの
終活ナビ



「大木町」版 解体費用シミュレーター

空き家の解体工事の概算相場がわかります。

前面道路の高低差など重機搬入が困難な接道状況やべた基礎、茅葺、り災、アスベスト除去必須の物件は解体費用が大幅に高くなります。解体費用を保証するものでは

ありませんのでご注意ください。



「大木町」版
解体費用
シミュレーター



固定資産税シミュレーター

納税通知書の金額を元に空き家を維持する費用や解体工事後の固定資産税の上昇額目安、売却した場合の収支を簡単に試算できます。



固定資産税
シミュレーター



空き家の迷惑度診断

所有する空き家が周囲へのどのくらい迷惑をかけているかを診断します。空き家が「管理不全空家等」に指定される可能性の参考にもなります。「管理不全空家等」指定されると住宅用地特例の適用対象から除外され、税負担

が重くなります。



空き家の
迷惑度診断



家じまいの相談窓口

不動産関連企業や各種専門家、土業ネットワークとの連携を通じて、空き家に関するさまざまな相談を1つの窓口で無料対応します。

空き家所有者に対し、空き家処分だけでなく利活用・売却を含め、最適な出口戦略の検討を支援します。また、ご希望があれば、解体概算の算出・専門的な一括見積もり相談も受け付けています。

☎株式会社クラッソーネ ☎0120-304-395 (平日9時～18時)



家じまいの
相談窓口



空き家対策はお早めに!

近年、空き家が増加し社会問題となっています。

総務省発表「令和5年住宅・土地統計調査」によると、全国の空き家数は、900万件。空き家率は13.8%と過去最高の水準となっています。大木町でも年々空き家が増加し、同様に問題となっています。

+ 適切に管理されていない空き家の悪影響

管理の行き届いていない空き家は、さまざまな原因によって地域に悪影響を及ぼす可能性があります。まずは現状を把握し、適切な管理や利活用を考えましょう。



+ 法改正で変わる「空き家」の責任

令和5年の法改正により、管理が不十分な「管理不全空き家」に指定されると、固定資産税の減額特例が受けられなくなり、税額が最大6倍になる可能性があります。

「まだ住めるから」と放置せず、早めの決断が家計を守ることに繋がります。

町の支援制度 放置する前に、負の遺産にしないための「解体」と「活用」をサポート!

早期の除却を支援

老朽空き家解体補助金

深刻な「危険空き家」になる前に、建物を解体して土地を再利用しませんか?

●補助額 解体工事費の1/2
(上限50万円)

【注意事項】

建物の老朽度判定で100点以上であれば、補助金の対象です。まずは「判定依頼書」を提出してください。

補助金の詳細は

こちら▶



利活用のチャンス

大木町空き家バンク

町内にある空き家を検索することができます。使用していない家屋や土地、倉庫などを登録しておくことで、空き家を借りたい、買いたいと思っている人と会うことができる可能性があります。

「壊すのはもったいない」という物件は、登録をご検討ください。

【注意事項】

- ・登録は不動産業者のみ行うことができます。
- ・賃貸、売買の交渉契約などは当事者同士で行います。町は関与しません。

問い合わせ・相談窓口 産業振興課 (ブランド推進室) ☎0944-32-8444